

肥後 洋一郎 <http://y-higo.net/>

2018年 夏号

# GO! GO! HIGO JOURNAL



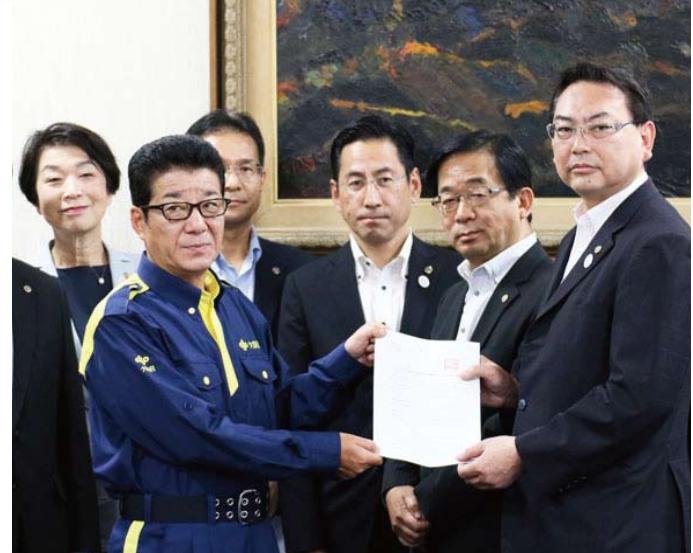
## ● ごあいさつ

6月18日に発生した大阪府北部地震で亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。発生が懸念されている南海トラフ地震も発生確率が70～80%となっており一層の地震対策が急務となっています。被災時の迅速・適切な対応と災害に強いまちづくりなどの防災・減災対策は、最優先課題です。国と地方との連携をさらに密にしながら、現場の声を施策にしっかりと反映させ、「現場力」を最大限に生かしていきます。今後とも皆様方のご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

大阪府議会議員 肥後洋一朗

## 大阪府北部地震で緊急要望 通学路の安全対策急げ！

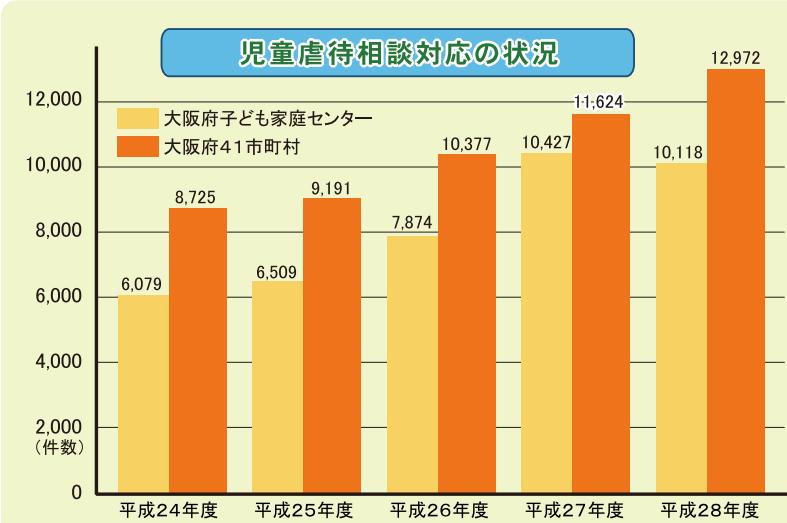
地震発生の翌日、府庁内で松井一郎知事らに対し、大阪府北部地震への対応に関する緊急要望を行いました。席上、学校周辺や通学路に設置されたブロック塀等の総点検と早急な安全対策の実施を要請。また鉄道やガス、水道などのライフラインの復旧状況についてのSNSなどを活用した正確な情報発信の徹底、上下水道の老朽化対策などを要望しました。今回の地震では2名の方が倒壊したブロック塀の下敷きになって亡くなられました。高槻市の事故では建築基準法施行令の違反も判明しています。現在、全国の自治体で緊急の点検・撤去が行われています。1978年の宮城県沖地震を契機に建築基準法施行令ではブロック塀の高さ制限が「3.0m以下」から「2.2m以下」に厳格化されていました。にもかかわらず発生した今回の事故。過去の教訓がなぜ生かされなかったのか。学校の安全対策を強化するとともに、国の財政措置を含めた迅速な対応を求めていきます。



松井一郎知事に緊急要望（2018.6.19）

## 虐待防止への対策を！ 大阪府警、府福祉部と意見交換

東京都目黒区で両親から虐待を受け女児が死亡した事件を受け、大阪府警、府福祉部と共に児童虐待防止への取り組みについて意見交換しました。大阪府では急増する虐待相談に対応するため、平成23年から警察官OBの児童保護支援員を配置。夜間帯の迅速な安全確認ができるよう当直員を配置し、子ども家庭センターが重篤事案に集中・特化できるよう民間との連携を強化するなど全国に比べ、様々な取組みを行っています。また、昨年4月には児童虐待に特化した「児童虐待対策室」が大阪府警に設置されています。これは全国初の専門部署で、独自の見守り活動のほか、自治体や子ども家庭センターとの連携を深め、虐待防止に取り組んでいます。意見交換では大阪府から「現場におけるマンパワー不足が課題」との指摘があり、児童福祉司の増員が図られるよう国に要望していきます。



大阪府警、府福祉部と意見交換するひご府議ら

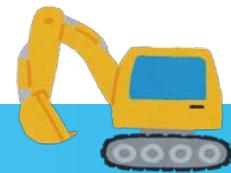
# 犯罪被害者支援 条例案を策定へ



「あすの会」の皆さんと意見交換

「全国犯罪被害者会（あすの会）」の関西で活動する家族らから出されていた条例制定を求める請願が、府会議で6月8日、全会一致で採択され、大阪府は犯罪被害者を支援する条例案を提出する意向を明らかにしました。ひご府議は平成28年9月議会総務常任委員会で犯罪被害者等支援の条例化を求めてきており、党府議団としてもこれまで大阪府に対し条例制定を要請してきました。関西で活動されていた皆さんと「大阪府犯罪被害者支援条例」について意見交換を行い、「あすの会」の皆さんからは請願採択に共に取り組んだことに対する御礼と今後の条例化にむけた要望等をお聞きしました。あすの会は6月3日に解散となりましたが、これからもしっかりと連携して素晴らしい条例を制定できるように取り組んでまいります。

## リスクに備え河川の治水対策進む



寝屋川市内を流れる一級河川寝屋川（寝屋川市三井が丘2丁目地内他）に土砂が堆積し、流れを阻害していることから大阪府にしゅんせつ整備を要望してきました。大阪府は現在、続発する豪雨災害から住民の命を守るため、河川の治水対策を進めています。対策の一つである河川の流れを改善し氾濫を防ぐためのしゅんせつ整備はこれまで、撤去した土砂の処分が課題となり事業が遅れています。そこで、府は今回、土砂の堆積状況が分かる河川特性マップを作成し、撤去した土砂を川底が流出した低い場所に埋め戻す手法を採用。2017年度からの5年間で、32河川47箇所を整備する予定です。また、2018年度には、洪水に特化した低コストの水位計も新設されます。



## 2025年万博誘致を大阪・関西に！

大阪府SDGs推進本部を設置



企画展示「私たちが創る未来 SDGs」を視察

6月13日、パリで開かれた博覧会国際事務局（BIE、170カ国加盟）の総会でノーベル医学生理学賞を受賞した京都大学IPS細胞研究所長の山中伸弥教授が大阪誘致へのプレゼンテーションを行い支持を呼びかけました。党議員団は『府は、あらゆる機会をとらえて国、大阪市、経済界、その他各関係機関と一緒に大阪万博誘致の働きかけを強化すべき。また、大阪万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」は、国連が掲げる「接続可能な開発目標（SDGs）」である「全ての国々にとって豊かで活力ある未来を創ること」に大きく貢献することを強くアピールし、全力で働きかけて行くこと』を求めています。



## 2019年G20サミット首脳会議

2019年6月に大阪で開催！

政府は2019年に日本で初めて開く20カ国・地域首脳会議（G20）の開催地を大阪に決定しました。公明党府議団は、昨年12月の知事要望において2019年のG20誘致を進めるよう要望。知事は、「G20の誘致に全力を尽くす」と回答していました。G20サミットとは、約35の国や機関が参加し、経済分野を主要議題として毎年開催される国際会議。日本にとっては未経験の大規模な国際会議となります。サミットが大阪で開催されることにより「世界に貢献する大阪・関西」、「安全・安心なまち大阪・関西」を世界に発信することができます。成功に向け、しっかりと準備を進めてまいります。

府政に関する相談やお問合せは

<http://y-higo.net/>

昭和39年8月17日生まれ  
鹿児島県出身

公明党大阪府議会議員団副政調会長

公明党

大阪府議会議員

ひご  
肥後 洋一郎 府政事務所

〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 園貫々堂ビル203号  
TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145